

今日のキーワード 最新の米国FOMC『ドット・チャート』は？

米連邦準備制度理事会（FRB）は、年に8回開催する米連邦公開市場委員会（FOMC）のうち3、6、9、12月に開く会合で、FOMCメンバーによる米国経済と政策金利の見通しを公表しています。米国の政策金利はフェデラルファンド（FF）レートですが、FOMCメンバーが予想するFFレートの水準を“点（ドット）”の分布で表現したグラフは『ドット・チャート』と呼ばれ、市場の注目を集めています。

ポイント1

『ドット・チャート』は政策を伝達する主要な方法ではない
しかし市場はそれを参考に金融政策を予想する

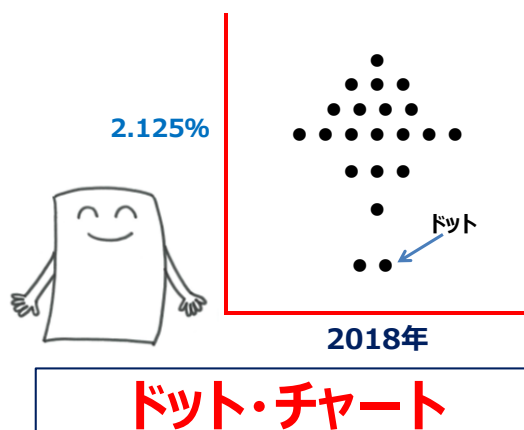
- FRBによれば、金融政策の意図を示す基本手段はFOMC声明であり、『ドット・チャート』は政策の意図を対外的に伝達する主要な方法ではありません。それでも、このような見通しが公表されると、市場はそれを参考に将来の金融政策を予想します。ドットが最も集中する（点の数が最も多い）予想値から、年に何回の利上げが実施されるかを推測するのです。

ポイント2

18年は3回の利上げを予想
19年は見方が割れる

- 12月12日、13日に開催された直近のFOMCでは、FFレートの誘導目標値を0.25%引き上げ、1.25%～1.50%とすることが決定されました。
- 今回の『ドット・チャート』を見ると、2018年末のドットは2.125%に最も多く集まりました。17年12月時点のFFレート誘導目標値の中央値は1.375%ですから、1回の利上げ幅を0.25%とすると、18年は3回の利上げが見込まれていることになります。
- 19年末については、ドットの最多は2.6875%です。利上げ見込みは2回となりますが、ドットの分布が上下に大きく広がっていることを踏まえると、19年の見通しは割れているといえそうです。

FFレート予測値の水準（%）



(※) 上記はイメージです。

今後の展開

市場の利上げ予測はFOMCメンバーより緩やか

■ 市場が織り込む利上げペースは緩やか

直近のFF金利先物市場は、2018年の利上げを2回程度と見込んでいます。つまり市場が織り込む利上げのペースは、『ドット・チャート』から推測されるFOMCメンバーの見通しに比べ緩やかということになります。

■ 利上げは緩やかなペースになる公算が大きい

米国景気の状態から判断すると、18年も利上げは継続されると予想されます。ただし、物価上昇率が低い水準で落ち着いていることから見ると、市場が織り込んでいる通り、利上げの速度は緩慢と考えられます。

ここも チェック！

2017年12月14日 米国の金融政策（2017年12月）

2017年12月11日 順調な拡大を示す米国の雇用統計（2017年11月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。